

地域自主防犯活動活発化事業

実施結果報告書

1 団体名	寺津小校区町内会長会
2 事業名	寺津小校区 侵入盗・自動車盗撲滅事業
3 事業実施結果	<p>寺津小校区は、寺津町、巨海町、徳永町、刈宿町、中根町、奥田町及び南奥田町の地区 26 町内会からなり、中学校も一つの小学校からの編成となり、小学校区と中学校区が同一という校区である(以下「寺津校区」という。)。この地域の住宅は、旧来からの家屋が多く存在しており、旧家では、鍵かけをせずに、または、裏口は無施錠で過ごしている住民も少なくないという地区である。</p> <p>西尾警察署管内の侵入盗被害は、8 月末現在で前年比増加しており、寺津校区も増加傾向にあった。警察署管内の自転車盗被害のうち、約 7 割が無施錠という状態であり、施錠への啓発が課題でもある。</p> <p>また、寺津校区では、令和 5 年 4 月から、寺津中学校の全校自転車通学が可能になり、日常的な自転車利用者が増加している。中学校では、施錠の習慣化のために、駐輪場での無施錠のチェック、無施錠使用者への啓発とともに、登校時にあいさつ運動を日常的に取り組んでいる。</p> <p>これらを踏まえて、今後、校区全体で地区を見守るという意識を高め、被害を発生させないために、校区内同一の防犯プレート設置や、あいさつ運動を地域として進め、住民自身が地域の安全を築く意識を高めて、地域全体の防犯力を向上させていくことを目的として、自主防犯活動を実施した。</p> <p>1. 校区内に防犯プレートを設置（E 事業）</p> <p>地域全体で地区を守るという意識を高め、地域全体での見守り地区を視覚で表現できるよう、校区内に同一の防犯プレート「みはりばん」を作成設置し、地域の防犯力向上の一体感を醸成した。</p>



防犯プレート「みはりばん」と説明文 2,700 枚作成し、校区内の一戸建て全戸、全アパートに配布した。

住民自身や地域外からの通過や来訪者等に対しても、住民自身が見守る、防犯意識の高い地域をアピールでき、地域全体の防犯力を向上させた。



(某地区通学路周辺の掲出状況)



2. 挨拶・声かけ運動を実施 (D事業)

新型コロナ禍当時、休校となったことで人との接点が減少し、中学生が人と接することが苦手になりかけていた。当時の出校日の通学途中で、中学生が地域の住民から声かけやあいさつを貰い、激励されたことで、中学生は勇気づけられ、元気づけられてきたという思いが強くあったことから、新型コロナウイルスが 5 類に変更された後、中学生が自発的に、地域にお礼をしたいとの気持ちで、寺津中学校で登校時のあいさつ運動が始まった。以前使用していたのぼり旗は減耗していたため、中学生の手作りのタスキなどであいさつ運動を行っていた。

中学校にあいさつや声かけが防犯力向上にもつながることを呼びかけたところ、生徒が新たにあいさつ運動の標語「かっこいい あいさつを寺津へ」を考案し、新標語のオリジナルのぼり旗を作成し運動に活用した。



新標語ののぼり旗でのあいさつ運動実施状況

当初は校内 10 本で行っていたが、今回 20 本製作し、10 本を校区内地域でも活用できるようにした。

中学校での活用だけでなく、公共の場所や人が集まる場所、店舗などにも設置依頼をかけ、あいさつ、声かけの意識付けを行った。

新たなあいさつ運動のスタートに際しては、地元の新聞社 2 社及びケーブルテレビの取材を受け、広く、地域に周知した。



寺津中学校での交付式



ケーブルテレビ放送状況

回覧

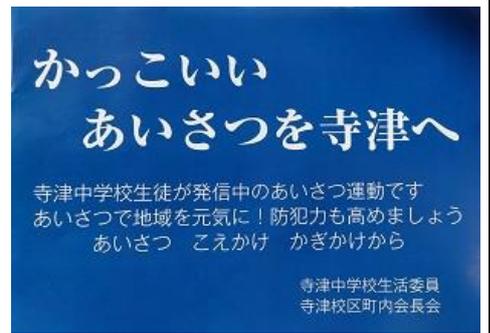


寺津中学校あいさつ運動を校区全域で進めましょう。生徒さんが自分たちで考えた標語です。「あいさつ」で地域を元気に！安心・安全に！



新聞記事の二次利用の許諾を得て、全校区町内に回覧した。

「かっこいい あいさつを寺津へ」の標語を広めるため、標語チラシを作成し、全戸配布を行っていく。



公共施設や商店等人が集まる場所にも依頼し、あいさつ運動ののぼり旗の一定期間設置依頼を行い、地域が一体となった防犯啓発活動を行っている。



寺津郵便局



寺津ふれあいセンター



年末年始初詣



寺津剣道教室



店舗等



3. 町内会と連携し、啓発チラシを配布（B事業）

前記1, 2について、啓発チラシを作成し、校区及び町内の会長会議等の開催に合わせて、各町内への防犯意識付けや防犯力高揚意識を共有した。

町内への回覧に合わせて、啓発チラシの配布協力を得るとともに、自主防災訓練など各種町内行事を利用して防犯力向上の啓発を行った。



町内会長会での報告等状況



4. 高齢者サロンで啓発（B事業）

前記3と合わせて、地域の高齢者サロンへの参加者への啓発を行った。

各町などが主管する5か所（巨海サロン、徳永ほのぼのサロン、かりやどサロン、若王子さわやかサロン、養國寺サロン）に加え、体操教室、健康麻雀教室など、高齢者が集まる場所での啓発を行っている。

寺津地区の犯罪発生状況や、高齢者への注意喚起を、西尾警察署からの資料も活用し、啓発を行っている。

中には、詐欺電話を受けて見破ったという受講者もあり、体験発表を問答の中でおこなうなど、同じ町内にも詐欺電話がかかっているということが実感されるなど、注意喚起に努めている。



若王子高齢者サロン





巨海町高齢者サロン

5. その他



寺津シルバー元気教室



健康麻雀教室



まちの体操教室寺津

<p>4 成果と課題 及び今後の 取組み</p>	<p>(1) 事業実施の成果及び課題</p> <p>①住民の防犯意識の高揚 防犯プレートみはりばんの掲載について、大部分の家庭に掲出をしていただいている。概ね校区全体まんべんなくプレートの掲出が認められており、地域の防犯力の向上の一端を、見える防犯力という形で実施できていると感じられる。 行政や警察等と連携して、地区の防犯力を高く維持していく。</p> <p>②犯罪発生状況の推移 7月末現在では、西尾警察署管内の住宅侵入盗発生は、前年比プラス傾向で、寺津校区も増加傾向にあった。 12月末（暫定値）では、西尾署管内は、刑法犯や住宅侵入盗発生が大幅増加し、また、周辺校区も犯罪認知件数が増加の中、当寺津校区は前年比マイナスの結果であった。</p> <p>(2) 今後の取組み</p> <p>①自主防犯活動の継続啓発の実施 中学生の自発的なあいさつ運動から、校区内の防犯活動に連動させることができた。中学生たちは、もっと地域に何かしたいという意識を持っており、これらを単年度で終わらせるのではなく、校区として、あいさつ運動、自主清掃活動、地域行事との連携等により、中学生の自発的活動による地域のまとまりが自主防犯につながるように、連携して支援を行いたい。</p> <p>②校区町内会としての防犯対策の年度予算編成 今回は、当事業で補助をいただき、校区町内会も、予算ゼロからの予備費での運用を会議で諮問し、予算付けしたことから、来年度以降は校区全体の啓発費として、予算組を当初から編成することとして啓発対策にもスピード感を持たせたい。</p> <p>③校区内企業等も一緒に意識高揚 校区内事業に協力いただいている企業、事業所にも啓発を合わせて行い、住民だけでない防犯力を向上させる。</p> <p>④高齢者への啓発の継続 高齢者の集まりは、ひと月に1～2回であるので、日程を確認しながら、引き続き令和6年1月以降も日程調整して実施していく。</p>
----------------------------------	---